学校番号	1006

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ａ（数研出版）						
副教材等	新課程　パラレルノート　数学Ａ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して先生の説明を待って聞いてわかったという受け身の気持ちにならず、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業ノートをつくりましょう。ノートには、先生が強調した部分や自分が解いたときに分からなかった部分に印をつけましょう。分からなかった部分は、もう一度自分で考えてから解いてみよう。
・計算手順や数式の組み立てから最終的な答えを導くまでの方法をひとつひとつ身につけましょう。理解できなかったときは、あきらめずに先生や友人に聞いてください。
・副教材の問題集やプリントなどは答えを写すのでなく、自分の力で解くようにしてください。わからない場合は、授業用ノートを見て調べて考えて自分の答えを出してみよう。

２　学習の到達目標

１年次の数学Ａ**の延長として、**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）数学の計算法則や場合の数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に理解、表現する技能を身につける。
（２）日本語で表される具体的な事象からイメージし数式に変換して表現する力とその数式を処理する力を養う。
（３）数学のよさや美しさを認識し数学を活用しようとする態度と、さまざまな問題解決の過程を振り返り考察する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化して解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	日本語で表される具体的な事象から数式に置き換え、数式を適切に処理できる。数学的活動を通して、確率、図形・整数の性質における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、過程を振り返り多面的・発展的に考え表現する。事象から得られる結果から考察する力や判断する力、社会の事象などから設定された問題について、適切な手法を選択して問題を解決できる。	数学的活動を通じて数学のよさや美しさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度、その振り返りを評価・改善したりしようとする態度や創造性の素地を高める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数と確率	確率	a:確率について、基本的な概念、用語・記号などを理解し、身に付けている。確率の基本性質や考え方を用いて、くじ引きの確率など具体的な事象の確率を考察し、問題解決できる。 b:確率の基本性質や和事象・余事象の確率について、その意味と考え方のよさを認識できる。条件付き確率や期待値の問題に取り組み確率の大小等について思考判断できる。 c:確率の考え方に関心をもち、その考え方をいろいろな事象の考察に活用しようとする。	確認テスト 定期考査	提出ノート 問題集への取り組み 定期考査	提出ノート 観察 レポート 振り返りシート
		三角形の性質	a:三角形の基本的な性質を活用し、辺の長さや比を求めたり、三角形の五心（三心）等を知ったりする。内分、外分、三角形の辺と角の大きさについて理解し、いろいろな図形の性質を調べられる。 b:三角形の重心、内心、外心の性質をそれぞれに応じて用い値を求めることができる。また、その性質を式や言葉で考察できる。 c:三角形の性質について関心をもち、その美しさを味わい、三角形を多面的にとらえ新しい性質を発見しようとする。	確認テスト 定期考査	提出ノート 問題集への取り組み 定期考査	提出ノート 観察 レポート 振り返りシート
2学期	図形の性質	円の性質	a:円周角や弦と接線の作る角の性質を利用して角の大きさを求めることができる。円周角の性質や方べきの定理を理解し、身に付けている。 b:円周角の定理や方べきの定理についてその性質を考察でき、問題に活用できる。 c:円の性質について関心をもち、その美しさを味わい、円を多面的にとらえ、新しい性質を発見しようとする。	確認テスト 定期考査	提出ノート 問題集への取り組み 定期考査	提出ノート 観察 レポート 振り返りシート
		空間図形	a:位置関係について理解して、問題に答えることができる。オイラーの多面体定理を利用することができる。 b:求めた答えが正解かどうか判断することができる。 c:空間についてイメージするために図を描くことができる。空間座標について理解して問題に取り組もうとする。多面体に興味を持つ。	確認テスト 定期考査	提出ノート 問題集への取り組み 定期考査	提出ノート 観察 レポート 振り返りシート

3 学期	数学と人間の活動	約数と倍数 1 次不定方程式 記数法	a:素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解している。 b:最大公約数と最小公倍数の性質や割り算の余りを利用した性質を用いていろいろな事象を考察できる。素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方により、整数に関連した事象を論理的に考察し表現できる。 c:整数の性質について理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする。 a:簡単な場合について、二元一次不定方程式を解くことができる。互除法の考え方を理解している。 b:二元一次不定方程式を、互除法を用いて解くことができる。 c:整数の性質に基づいて、互除法を理解し、2 つの整数の最大公約数を求めようとする。 a:n 進法を 10 進法で表し、10 進法を n 進法で表すことができる。10 進法、位取り記数法、n 進法、2 進法について理解している。 b:n 進法から状況に応じて 10 進法以外の異なる進法で表すことができる。 c:n 進法に興味・関心をもち積極的に数値の表現方法に興味を持つ。	確認テスト 定期考査	提出ノート 問題集への取り組み 定期考査	提出ノート 観察 レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度